

ワンポイントアドバイス

まぶたのふさがりがんけん か すい(眼瞼下垂症)

川口市立医療センター

形成外科 わたなべ なみ
渡部 奈見



最近、まぶたのふさがりを感じることはありませんか？視野が狭くなった、ものが見えにくくなった、目が開けづらくなった、目が疲れやすい、これらの症状が当てはまる場合、眼瞼下垂症の可能性があります。

眼瞼下垂症とは、上まぶたが十分に上がらない状態のことです。まぶたは付着する2種類の筋肉が、けんぼん瞼板と呼ばれる硬い板を引っ張り上げることで開きます。筋肉と瞼板は、けんまく腱膜という組織でつながっており、これが加齢によりたるんでくるとまぶたが上がりにくくなってしまいます。多くは加齢が原因で、皮膚のたるみや筋肉の衰えも、加齢性眼瞼下垂症の原因となります。

まぶたが上がらないため、おでこの筋肉で代償しようとし、まゆ毛の位置が高くなったり、額のしわが目立つようになります。また、頭痛や肩こりの原因になることもあります。

これらを改善するために、たるんだ皮膚を切除し、伸びた腱膜を縫い縮める手術があります。術後は視野が広がり、頭痛や肩こりの改善も期待できます。

まぶたのふさがりを感じたら放置せず、まずは形成外科を受診してみましょう。

